

「GPM および衛星シミュレータ合同研究集会」

主催者:久保田拓志(JAXA/EORC), 増永浩彦(名大)

日時: 2020年3月9日(月)~10日(火)

場所: 名古屋大学環境総合館 1F レクチャーホール

プログラム

3月9日(月) 13:00~17:40

座長 久保田拓志(JAXA)

13:00-13:10 はじめに 久保田拓志(JAXA)

13:10-13:30 「GPM/DPR で得られた全球規模での雨滴粒径と降水特性の関係」

山地萌果(JAXA/首都大)・高橋洋(首都大/JAMSTEC)・

久保田拓志・沖理子(JAXA)・濱田篤(富山大)・高藪縁(東京大)

13:30-13:50 「GPM-DPR データを用いた雹検出手法の開発と準全球マップの作成」

清木達也(JAMSTEC)

13:50-14:10 「衛星搭載二周波降水レーダを用いた固体降水粒子特性の解析」

秋山静佳・重尚一(京都大)

14:10-14:30 「DPR プロダクトの検証と雷活動について」

鈴木賢士・竈本倫平(山口大)・川野哲也(九州大)・

花土弘・中川勝広(NICT)・金子有紀(JAXA)

14:30-14:45 (休憩)

座長 濱田篤(富山大)

14:45-15:05 「GPM DPR による規模別降水システムデータベース」

広瀬正史(名城大)

15:05-15:25 「GPM 衛星プロダクトを活用した

冬季多降水をもたらす温帯低気圧の構造解析」

上野健一・澤田壮弘(筑波大)

15:25-15:45 「中緯度温帯低気圧に伴う降水/加熱分布の南北半球間比較」

辻宏樹・高藪縁・栃本英伍(東京大)

15:45-16:05 「衛星搭載降水レーダの放射計的利用」

金丸佳矢(NICT)・井口俊夫(NASA)・濱田篤(富山大)

16:05-16:20 (休憩)

座長 佐藤正樹(東京大)

16:20-16:40 「黒潮続流係留ブイデータにみられる

海洋混合層内の散発的な低塩分シグナル」

亀山昂平・相木秀則(名古屋大)

16:40-17:00 「マイクロ波放射計を用いた

氾濫の検出と高空間解像度の地表水マップの作成」

瀬戸心太(長崎大)

17:00-17:20「衛星降水観測データ複合利用による大規模降水システムの解析」
渡部友祐・重尚一*(京都大)

17:20-17:40「衛星観測と地球環境」
中村健治(獨協大)

懇親会(花の木)

3月10日(火) 08:30~17:20

座長 鈴木健太郎(東京大)

08:30-08:50「Joint-Simulatorの開発状況と適用」
端野典平(高知工科大)

08:50-09:10「衛星シミュレータ RTTOV における氷雲放射スキームの評価」
林昌宏・岡本幸三(気象庁)

09:10-09:30「ひまわり赤外輝度温度に対する、衛星シミュレータの再現性と全球同化」
岡本幸三(気象庁)・端野典平(高知工科大)・
林昌宏・中川雅之(気象庁)

09:30-09:50「NEに基づく変分同化法への降水の混合対数正規分布と
新しい降水位置ずれ補正法の導入」
青梨和正・岡本幸三・山口宗彦(気象研)・田島知子(JAXA)

09:50-10:10「NICAM-LETKFを用いた全球天気予測システムの開発について」
Ying-Wen Chen(東京大)・Koji Terasaki(理研)・
Shunji Kotsuki(千葉大)・Kaya Kanemaru(NICT)・
Masaki Satoh(東京大)・Takemasa Miyoshi(理研)・Takuji Kubota(JAXA)

10:10-10:25 (休憩)

座長 岡本幸三(気象庁)

10:25-10:45「雨水形成効率と衛星観測データの関係」
久芳奈遠美(東京大)・清木達也(JAMSTEC)・
鈴木健太郎・Woosub Roh・佐藤正樹(東京大)

10:45-11:05「Voronoi粒子の氷雲放射計算への導入と
ひまわり8号観測データ放射量校正への応用」
余郷友祐・石元裕史(気象庁)

11:05-11:25「CloudSatと静止気象衛星を用いた雲物理特製の時間変化について」
山内晃・鈴木健太郎(東京大)

11:25-11:45「可視赤外イメージャによる暖かい雲の微物理過程のマッピング」
永尾隆・鈴木健太郎(東京大)

(写真撮影・昼食・休憩)

座長 牛尾知雄(大阪大)

13:00-13:20「衛星全球降水マップ GSMaPの最近の進展と今後の計画」
久保田拓志・田島知子(JAXA)・
山地萌果(JAXA/首都大)・沖理子(JAXA)

13:20-13:40「衛星全球降水マップ GSMaPによる異常降水の検出」
田島知子・久保田拓志・沖理子(JAXA)

- 13:40-14:00 「大気下層安定度を考慮した地形性降雨判定手法の開発」
山本宗尚(RESTEC)・重尚一(京都大)
- 14:00-14:20 「固体降水の厚みの変動を考慮した散乱アルゴリズム開発」
青梨和正(気象研)
- 14:20-14:35 (休憩)
座長 青梨和正(気象研)
- 14:35-14:55 「GSMaP MVK 降雨推定の改良」
妻鹿友昭・牛尾知雄(大阪大)
- 14:55-15:15 「機械学習を活用した GSMaP 赤外降雨補完アルゴリズムの改良」
広瀬民志・久保田拓志(JAXA)・樋口篤志・豊嶋紘一(千葉大)・
牛尾知雄・妻鹿友昭(大阪大)
- 15:15-15:35 「Machine learning approach for estimating storm-top height
based on passive microwave brightness temperature」
Hyungjun Kim, Nobuyuki Utsumi(東京大)
- 15:35-15:55 「An intercomparison of tropical clouds using DYAMOND data
over the Atlantic」
Woosub Roh・Masaki Satoh(東京大)・Cathy Hohenegger(MPI)
- 15:55-16:10 (休憩)
座長 増永浩彦(名古屋大)
- 16:10-16:30 「全球降水プロダクト間の長期比較」
古澤(秋元)文江・増永浩彦(名古屋大)
- 16:30-16:50 「二重偏波フェイズドアレイ気象レーダー (MP-PAWR) で観測された
夏季雷雲の降水粒子分布の時間変化」
額額文晴・高橋暢宏(名古屋大)
- 16:50-17:10 「フェーズドアレイ気象レーダーデータの解析に基づく
海上竜巻を発生させた対流雲内部の渦構造の時間変化」
今井隆翔・高橋暢宏(名古屋大)
- 17:10-17:20 おわりに 増永浩彦(名古屋大)